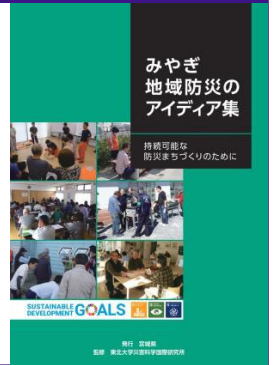


主メンバー: 佐藤 健・杉浦元亮・邑本俊亮・定池祐季

副メンバー: 蝦名裕一・佐藤大介・佐藤翔輔・柴山明寛・三木康宏・稲葉洋平

研究・開発概要

- 石巻市教育委員会・石巻市立鹿妻小学校と共同開発してきた「復興・防災教育モデル」の普及と高度化を行い、実践校の学習成果は、石巻市教育委員会と共催している復興防災マップコンクールにおいて表彰も行いました。
- 東日本大震災の学び(災害を生きる力)を世界に向けて発信するとともに、その学び手が地域・世代を超えて震災伝承・防災教育を行うモデルを実践検討しました。
- 「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」等を通して、学校における防災教育や復興教育に関係する研究者や実践者による議論を、防災教育国際協働センターが核となり深化させました。
- 「仙台市地域防災リーダー(SBL)養成事業」や「宮城県自主防災組織育成・活性化支援モデル事業」等を通して、宮城県・仙台市等と連携して防災人材育成に取り組みました。



● 災害を生きる力の国際発信と、学び手が伝え手になる災害伝承・防災教育システムの研究

2019年に東京の中学校で防災出前授業を行った学生グループが、2020年度は「ひらめき☆ときめきサイエンス」東北大生が考えた防災教育プログラム「心理を学んで災害に備えよう」として、災害研で県内の小中学生27名を対象に教育実践を行いました。



東日本大震災における個人の生きる力の認知・脳メカニズムについて学術論文を発表しました。

- ✓ Miura N, Sugiura M, Nozawa T, Yamamoto Y, Sasaki Y, Hamamoto Y, Yamazaki S, Hirano K, Takahashi M, Kawashima R. (2020). Taking another's perspective promotes right parieto-frontal activity that reflects open-minded thought. Soc Neurosci, 15(3), 282-295.
- ✓ 三浦直樹, 吉井慶人, 高橋信, 杉浦元亮, 川島隆太. (2020). 複雑な社会技術システムにおける想定外事象対応の機能的MRI: 課題成績と問題対応特性は問題解決脳領域の低活動と関連する. ヒューマンインタフェース学会論文誌, 22(1), 43-54.
- ✓ Ding Y, Sugiura M. (2021, May 12). The Better-than-average Effect According to the Self-protection Motive in Morality: A Survey Study of Young Japanese Adults. <https://doi.org/10.31234/osf.io/cw7bp>

● 防災人材育成モデルに関する研究

京都大学防災研究所の地域防災実践型共同研究(特定)「持続可能な防災まちづくりと防災人材育成に関する研究」(H30~R1)に取り組んだ成果が自然災害科学に掲載されました。

- ✓ 佐藤 健, 桜井愛子, 小田隆史, 林田由那, 村山良之, 矢守克也: コミュニティ・スクールにおける学校防災の推進モデル〜横浜市立北綱島小学校の事例〜, 自然災害科学, 40(2), 2021

第2回世界防災フォーラム・仙台防災未来フォーラムの関連イベント(2019.11.10)に取り組んだ成果がJournal of Disaster Researchに掲載されました。



片平地区まちづくり会第4回防災大探しゲーム

- ✓ Takeshi Sato, Aiko Sakurai, Yuki Sadaike, Risa Yanagiya, and Hitoshi Konno: Sustainable Community Development for Disaster Resilience and Human Resources Development for Disaster Risk Reduction – Growth and Community Contribution of the Katahira Children's Board for Community Development –, Journal of Disaster Research, Vol.15, No.7, pp.931-942, 2020.12

● 教員研修・評価モデルの開発

災害研共同研究課題「学区の災害リスク理解のための地図を活用した教員研修・評価モデルの開発」(研究代表者: 桜井愛子(東洋英和女学院大学))の成果に基づいて、学校教員向けオンライン研修動画を制作しました。



防災教育国際協働センターウェブサイトからの配信

学校防災研修の実践とその評価に関する研究成果が安全教育学研究に掲載されました。

- ✓ 小田隆史, 桜井愛子, 村山良之, 佐藤 健, 北浦早苗, 加賀谷 碧: 教員の地図リテラシー育成とハザード理解に向けた学校防災研修—宮城県石巻市における試行から—, 安全教育学研究, 20(1), 27-36, 2020.9

● 避難訓練指導パッケージの開発研究

災害研共同研究「避難訓練の持続可能な評価・改善に向けた学校・行政・研究者による協働モデル構築」(研究代表者: 林田由那(宮城教育大学))の成果として、チェックシートとDVDを制作しました。

この避難訓練指導パッケージは、『令和2年度宮城県学校安全教育指導者研修』において、研修資料として採用され、研究成果の社会実装に貢献しました。

研究成果が安全教育学研究に掲載されました。

- ✓ 林田由那, 戸田芳雄, 佐藤 健: 宮城県の学校における避難訓練の評価手法の開発に向けた実践報告, 安全教育学研究, 20(2), 39-50, 2021.3



● 「防災教育」と「心のケア」のセットで支える子どもサポート・ハンドブック

災害研共同研究課題「被災地の学校における心のケアと防災教育の融合プログラムの有効性と課題—東日本大震災と北海道胆振東部地震被災地での実践から」(研究代表者: 富永良喜(兵庫県立大学))の成果に基づいて、「防災教育」と「心のケア」のセットで支える子どもサポート・ハンドブックを制作しました。



防災教育国際協働センターウェブサイトからの配信



将来の災害に貢献できること

- 学校教員が地域に根差した防災教育の学習指導案づくりや授業実践を行う際に有益となる防災教育の推進環境(教育実践のモデルや教育支援システムなど)を社会に提供します。
- 災害を生きる力の科学的教育技術と、学び手が地域と世代を超えて災害を伝える防災教育システムのプラットフォームを提供します。
- 地域の自然と歴史(地域ごとに求められる防災)を学ぼうとする生涯学習の意欲形成に寄与する「地域に根差した防災教育」(Place Based Education for DRR)のモデル普及により、地域防災人材の育成に貢献します。